

日本宗教学会

第58回学術大会

1999年9月17日(金)～19日(日)

南山大学

名古屋市昭和区山里町18

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。お帰りの際は受付に名札をご返却下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会の会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人**15分**、質問時間は**5分**となっております。発表時間の厳守をお願いいたします。
5. 発表のレジュメ(表紙・本文)は、部会責任者にお渡し下さい。

締切 大会最終日(9月19日)17時00分
以後の提出、訂正は一切受け付けません。

表紙 同封のレジュメ表紙をご利用下さい。

枚数 題目・氏名を除いて、400字詰縦書き原稿用紙4枚以内厳守。ワープロ原稿を1行40字で作成の場合は40行以内厳守。枚数を超過した場合、掲載できないこともございます。

本文 縦書き(ワープロでの印字も縦書き)。なるべくワープロを使用して下さい。図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。校正は編集部で行います。読みやすいレジュメをご提出下さい。

6. 喫煙は所定の場所(G棟ロビー)以外ではご遠慮下さい。
7. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

9月16日までは

TEL 052-832-3111 内線580

9月17日から19日大会終了までは

TEL 052-832-3464 / 090-2139-1637

FAX 052-833-6157 (日本宗教学会事務局宛と明記して下さい)

e-MAIL nirc@ic.nanzan-u.ac.jp

8. 学会プログラムは、以下のホームページにも掲載されております。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/SHUBUNKEN/JARS/>

受付	9月17日(金) G棟30教室ロビー
	9月18日(土)~19日(土) G棟ロビー
会員休憩室・クローク	F棟11教室、12教室
学会本部・大会本部	F棟13教室
書籍の展示・販売	F棟ロビー

日 程

9月17日(金)

開会式	G棟30教室	13:00~13:20
国際シンポジウム	G棟30教室	13:20~17:20
テーマ 「宗教研究の新たな動向」 “New Trends in Religious Studies”		
発表者	ローレンス・サリヴァン	ハーバード大学教授
	ダヴィド・カラスコ	プリンストン大学教授
	土屋博	北海道大学教授
	竹沢尚一郎	九州大学教授
レスポネント	マーガレット・マイルズ	パークリー神学連合大学院大学教授
	金井新二	東京大学教授
学会賞選考委員会	F棟23教室	13:30~15:30
理事会	本部棟3階会議室	18:00~20:00

9月18日(土)

研究発表・パネル	G棟、E棟各教室	9:00~12:00
評議員会	M棟B11教室	12:00~13:30
研究発表	G棟各教室	13:30~16:10
会員総会	E棟B1教室	16:20~17:40
懇親会	大学会館、第一食堂	18:00~20:00

9月19日(日)

研究発表・パネル	G棟、E棟各教室	9:00~12:00
『宗教研究』編集委員会	F棟23教室	12:00~13:40
研究発表	G棟各教室	13:30~16:30
パネル	E棟各教室	14:00~17:00
閉会式		各部会終了後

第1部会 G棟21教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------|-------|---------|
| 1. フロイトの宗教観—幻想の未来について— | 中村みどり | 京大 |
| 2. ユングの宗教的な関心について | 杉岡正敏 | 京大 |
| 3. 象徴としての鏡—鏡をみるということについて— | 井手直人 | 筑波大 |
| 4. 内的経験と宗教言語 | 沖永宜司 | 帝京大 |
| 5. 宗教と社会の結節点としての責任の諸様態 | 井腰圭介 | 帝京科学大 |
| 6. 身体論と宗教心理 | 津城寛文 | 静岡県立大 |
| 7. 占夢の位相 | 海山宏之 | 茨城県立医療大 |
| 8. ロングハウス宗教に見られる宗教学的問題について | 木村武史 | 山口大 |
| 9. オットーの「絶対他者」論考 | 澤井義次 | 天理大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|--------------------------------|-------|---------|
| 1. 近代日本の雑誌メディアにおける“宗教”の語られ方 | 鈴木健太郎 | 日本学術振興会 |
| 2. 自己理解のカテゴリーとしてのヒエロファニー | 岡宏志 | 東北大 |
| 3. 神話としての聖伝—その構造と意味— | 宮本要太郎 | 筑波大 |
| 4. 宗教現象の周期性—近現代日本社会における— | 寺林脩 | 大谷大 |
| 5. イエスと日蓮の誕生—父なき生殖の観念をめぐる比較研究— | 大久保雅行 | 久留米大 |
| 6. 神とイエスの関係は本仏と迹仏の関係に等しい | 長谷川洋三 | 早大 |
| 7. 祈りと願い—「二河白道の譬喩」と「主の祈り」の対比— | 高田信良 | 龍大 |
| 8. 信仰の諸類型 | 加藤智見 | 東京工芸大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------------|-------|----------|
| 1. 確からしさによる信—ラプラス中心に— | 梶津照信 | |
| 2. ミルチャ・エリアーデにおける神話と創造性 | 國松萌美 | 京大 |
| 3. コスモゴニーとしての「たたり」 | 喜田川仁史 | 筑波大 |
| 4. ログスの思考と宗教—エゴイズムの源泉とその克服の試み— | 齋藤隆 | 日大 |
| 5. 感覚と宗教性—庭にみる共感覚(シナスタジア)— | 片平幸 | 総合研究大学院大 |
| 6. 神話と歴史の宗教学的考察—都市神ウイツィロポチトリの誕生— | 岩崎賢 | 筑波大 |
| 7. 宗教進化のモデルをめぐる—共同体宗教と個人宗教— | 松尾剛次 | 山形大 |
| 8. ヴェーバー・和辻・桜井勝之進・丸山の理論—神観念とマナー— | 池田昭 | 中京大 |

午後 13:30~16:30

- | | | |
|------------------------------------|-------|---------|
| 1. 死後生の説明責任—情念の浄化をめぐる諸宗教対話の倫理性— | 寺尾寿芳 | 南山宗教文化研 |
| 2. 「無宗教」および諸宗教のコミュニケーション・共存 | 濱田陽 | 京大 |
| 3. 宗教間対話の現在 | 山梨有希子 | 大正大 |
| 4. 「言葉」による「動き」の分離 | 小林正佳 | 天理大 |
| 5. 神話の創造力—「他者」との邂逅がもたらすもの— | 竹田洋一郎 | 筑波大 |
| 6. 価値および意味と宗教の問題 | 今井尚生 | 京大 |
| 7. 〈価値〉としての宗教理解をめぐる | 飯田篤司 | 工学院大 |
| 8. sui generis な宗教現象と還元主義的アプローチの問題 | 東馬場郁生 | 天理大 |
| 9. 悪の自覚と悪の現実 | 小田淑子 | 関大 |

第 2 部会 G棟22教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|--|------|---------|
| 1. 初期プラトン哲学における「善性」に関する一考察 | 和田義浩 | 日本学術振興会 |
| 2. 古代ローマの宗教 | 小堀馨子 | 東大 |
| 3. ユーリアーヌス帝の「宗教復興」構想における「祭儀」 | 中西恭子 | 東大 |
| 4. アンセルムス「敵のための祈り」と愛の規範 | 山崎裕子 | 文教大 |
| 5. 究極的実在の問題 | 花岡永子 | 大阪府立大 |
| 6. ゲルマン初期王権の神話的基础 | 尾崎和彦 | 明大 |
| 7. テオオシス思想とエックハルト | 田島照久 | 早大 |
| 8. ドイツ宗教改革急進派と人文主義 | 木塚隆志 | 駿河台大 |
| 9. 「理神論」の名称と他の神概念について | 玉井実 | 東京工芸大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|---|------|-------------|
| 1. 苦しみの意味について—パスカルの場合— | 宮永泉 | 京都ノートルダム女子大 |
| 2. カントにおける人間の自由の問題 | 脇坂真弥 | 大谷大 |
| 3. カントとメンデルスゾーン | 後藤正英 | 京大 |
| 4. ヘーゲルにおける無限 | 門脇健 | 大谷大 |
| 5. ショーペンハウアーにおける宗教の価値について | 小林邦輝 | 早大 |
| 6. ケルケゴールと敬虔主義 | 藤枝真 | 大谷大 |
| 7. S. ケルケゴールの信仰における《不条理》と《逆説》 | 平林孝裕 | 関西学院大 |
| 8. シュヴァイツァー遺稿シュトラースブルク講義と『聖餐』第三分冊 | 田辺明子 | プール学院大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|--|-------|----------|
| 1. 「ドイツ的信仰」の系譜—近代ドイツ宗教史の一断面— | 久保田浩 | 日本学術振興会 |
| 2. シュライエルマッハーの『弁証法』(1814)における直観と感情 | 伊藤慶郎 | 京大 |
| 3. シュライエルマッハー弁証法講義(1822)の宗教哲学的性格 | 川島堅二 | 恵泉女学園大 |
| 4. シュライエルマッハーの《解釈学》と《批判》の概念について | 掛川富康 | 茨城キリスト教大 |
| 5. M. シェーラーと仏陀—存在の善・悪と彼の形而上学をめぐって— | 浅野博之 | 東北大 |
| 6. ヤスパースの暗号論 | 石浜弘道 | 日大 |
| 7. ヤスパースにおける実存生成の二つのモチーフ | 土佐明 | 京大 |
| 8. ルサンチマンとリアクション | 戸島貴代志 | 福井高専 |
| 9. プーバーにおける神と人間 | 笠井貞 | 東京国際大 |

午後 13:30~16:30

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. 新生と理解—ブルトマンとハイデガー— | 松本直樹 | 京大 |
| 2. 『教行信証の哲学』(武内義範)とハイデッガー | 小野真 | 日本学術振興会 |
| 3. 初期ハイデッガーにおける“Sorge”の構造 | 田中敏明 | 龍大 |
| 4. ハイデッガーにおけるフュシスの諸様相について | 岩井美好 | 早大 |
| 5. マルセル哲学の解釈の傾向の若干の変化の過程をめぐって | 小林敬 | 酪農学園大 |
| 6. ティリツヒの「存在への勇氣」 | 高橋良一 | 京大 |
| 7. シモーヌ・ヴェイユにおける「時間」と「志向」 | 今村純子 | 京大 |
| 8. 科学論の射程—宗教哲学の立場からの科学論の試み— | 森本さとし | 近大 |
| 9. フランス反省哲学における神—ラニョーからナベールへ— | 杉村靖彦 | 京大 |

第3部会 G棟23教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------------|-------|-------------|
| 1. 初期ユダヤ教における「賢者」と「書記」 | 加藤久美子 | 日本学術振興会 |
| 2. 新約聖書におけるイエスの裁判について | 土居由美 | 東大 |
| 3. ローマ書8:29における予知の意味 | 野口誠 | 茨城キリスト教大 |
| 4. 原始キリスト教の現在的終末論—エリアーデ批判を手がかりに— | 十津守宏 | 鈴鹿国際大短大 |
| 5. 初期キリスト教の復活論理解における福音書伝承の問題 | 出村みや子 | ノートルダム清心女子大 |
| 6. 19世紀ドイツの教会音楽とチェチリア運動についての一考察 | 三村利恵 | 大阪音大 |
| 7. ブルトマンの奇跡解釈—『共観福音書伝承史』を中心に— | 土井洋 | |
| 8. テーゼコミュニティと現代キリスト教 | 坂本進 | アサンブション大 |
| 9. 新約聖書翻訳経緯—奥野昌綱の改定草稿(新出資料)を中心に— | 中村博武 | 京大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|---------------------------------|------|-------------|
| 1. 角田柳作と今村恵猛 | 守屋友江 | 明治学院大 |
| 2. 沖縄バプテスト連盟におけるある反戦宣教師解任問題について | 小林紀由 | 日大 |
| 3. 「奇蹟」の語り | 寺戸淳子 | 民族学振興会 |
| 4. 密教と文化受容—マリア崇拜と巡礼— | 野村暢清 | 久留米大 |
| 5. キリスト教学校成立の条件—明治前期の場合— | 雨貝行麿 | 東北学院大 |
| 6. 聖書の贖罪精神と自由—新英語訳聖書の翻訳を中心として— | 木原範恭 | 近大 |
| 7. 近代後期の女性宗教者ジュリー・ピアート文書研究 | 高木孝子 | ノートルダム清心女子大 |
| 8. エコロジーと宗教— sacramentalな自然理解— | 間瀬啓允 | 慶大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|---------------------------------|------|----------|
| 1. カナダの大学生の宗教教育に関する意識 | 荻野勝行 | 大谷女子短大 |
| 2. ニューエイジとセラピー文化 | 小池靖 | 東大 |
| 3. 現代社会の医療と宗教 | 石川都 | 茨城キリスト教大 |
| 4. 真宗と緩和医療—そばに在ること— | 林弘幹 | 真宗大谷派教学研 |
| 5. 末期医療におけるスピリチュアル・ケア—言説分析を中心に— | 神谷綾子 | 京大 |
| 6. ターミナルケアにおける宗教的援助の在り方 | 中村隆子 | 京大 |
| 7. 正義・慈善・福祉—宗教史から見た現代福祉国家— | 市川裕 | 東大 |
| 8. 宗教と現代社会福祉—制度と思想— | 膝憲之 | 龍大 |
| 9. 世界的政策に基づく社会福祉と宗教的ボランティアの提唱 | 平野孝國 | 皇學館大 |

午後 13:30~15:50

- | | | |
|------------------------------|------|---------|
| 1. 大拙禅とその現代的批判における一考察 | 和田真二 | |
| 2. 鈴木大拙の浄土教観—受動性の問題をめぐって— | 永橋治郎 | 大阪府立大 |
| 3. 西田における場所的論理の宗教的意義 | 中山一萱 | 京都産業大 |
| 4. 立場としての宗教哲学—西谷啓治の思索を手がかりに— | 西元和夫 | 龍大 |
| 5. 西谷啓治の清沢満之観 | 田村晃徳 | 大谷大 |
| 6. アシジのフランシスコの自然観と西谷啓治の仏性論 | 木村晶子 | 藤女子大 |
| 7. 西谷啓治におけるキリスト教理解 | 名木田薫 | 倉敷芸術科学大 |

第4部会 G棟25教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|-------------------------------|------|----------|
| 1. 宗教の誕生—中国法輪功に見る— | 何燕生 | 東北大 |
| 2. 中国朝鮮族における民間職能者—吉林省延吉市での事例— | 川上新二 | 國學院大 |
| 3. 道教における神秘主義的思想と倫理 | 鈴木健郎 | 日本学術振興会 |
| 4. 中国中世の道教の喪礼について—大殮の儀式を中心に— | 小林正美 | 早大 |
| 5. 『老君音誦誠経』について | 春本秀雄 | 大正大 |
| 6. 王充の道術批判について | 清水浩子 | 大正大 |
| 7. 無能勝明妃(アパラージター)の成立と展開 | 頼富本宏 | 国際日本文化研 |
| 8. 古代中国における「祭法」の基本理念考 | 栗原圭介 | 大東文化大 |
| 9. 青森県大間町の天妃信仰 | 窪徳忠 | 大正大総合佛教研 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|--------------------------------|-----------|----------|
| 1. 聖なるものと靈魂の封じ込め方 | ヨルン・ボクホベン | 阪大 |
| 2. インド社会における諸聖者崇拜の伝統からみた宗教多元主義 | 田中かの子 | 駒大 |
| 3. 現代インドとバガヴァッド・ギーター | 堀内みどり | 天理大おやさと研 |
| 4. 現代沖縄のユタの宗教的知の習得・継承について | 佐藤壮広 | 立大 |
| 5. シーサンパンナの仏教の現況 | 宇治谷顕 | 名古屋音大 |
| 6. 僧と巫のあいだ—現代中国本土の事例から— | 佐々木宏幹 | 駒大 |
| 7. 神の魅惑と拒否—神秘主義ウルドゥー詩に見られる— | 加賀谷寛 | 追手門学院大 |
| 8. イスラームにおける学問の分類 | 鎌田繁 | 東大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|---------------------------------|-------|----------|
| 1. モンゴル仏教の「金剛驅魔」神舞 | 嘉木揚凱朝 | 愛知学院大 |
| 2. 新羅四天王寺造営の背景と思想 | 李興範 | 立正大 |
| 3. 韓国聖俗とキリスト教の交渉について | 金永晃 | 大正大総合佛教研 |
| 4. 東南アジアにおける仏塔の一考察 | 堀江宏文 | 立正大 |
| 5. 檀君ナショナリズムの形成—1895-1910年を中心に— | 佐々充昭 | ソウル大 |
| 6. 円測法師の心体説について | 鄭世成 | 立正大 |
| 7. 朝鮮総督と宗教政策 | 申昌浩 | 総合研究大学院大 |
| 8. 神道各教派の朝鮮布教—総督府統計資料にもとづいて— | 工藤英勝 | 足利短大 |
| 9. シンボルとしての樹木—墓上植樹を例として— | 本林靖久 | 大谷大短大部 |

午後 13:30~16:30

- | | | |
|-----------------------------------|-------|---------|
| 1. チベット問題における「宗教」 | 廣池真一 | 東大 |
| 2. 北欧精神史からみたキリスト教と土着性—スターブ教会と神話— | 中里巧 | 東洋大 |
| 3. ペナン島における道教信仰の現況 | 芦名裕子 | 亜細亜大 |
| 4. キリスト教葬儀の変遷—儀式書・祈祷書・式文を手がかりに— | 待井扶美子 | 東北大 |
| 5. 《ディアスポラ》の空間認識 | 清家久美 | 九大 |
| 6. ジュリア祭の研究—日本におけるカトリックの信仰受容の一考察— | 奥村友美 | 立大 |
| 7. 現代インドネシアの仏教 | 木村文輝 | 愛知学院短大 |
| 8. クリーブランド美術館蔵(二河白道図)の成立について | 加藤善朗 | 国際日本文化研 |
| 9. 在日米軍の宗教生活—従軍牧師の調査から— | 田中雅一 | 京大 |

第 5 部会 G棟24教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|------------------------------|-------|-----------|
| 1. 『阿毘曇心論』業品における調御威儀戒の五時について | 智谷公和 | 相愛大 |
| 2. 『百論』・『四百論』破常品における常住論批判 | 渡邊純子 | 東洋大 |
| 3. 『大智度論』の思想的独創性から著者問題を再考する | 武田浩学 | 国際仏教学大学院大 |
| 4. 大乘仏教成立の問題点 | 藤近恵市 | 大正大総合佛教研 |
| 5. 『聖燃燈授記大乘経』について | 村上憲彦 | 立正大 |
| 6. vyavasthāna についての一考察 | 平賀由美子 | 大正大 |
| 7. 仏教の黄金律 | 西尾秀生 | 近大 |
| 8. 心不相応行の概念 | 阿部真也 | 大正大総合佛教研 |
| 9. サンスクリット大乘仏典の計量分析の方法と問題点 | 高木健翁 | 統計数理研 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|-------------------------------|------|-----------|
| 1. ナーガールジュナのウィットゲンシュタイン的解釈の誤謬 | 富岡久美 | 大阪府立大 |
| 2. 龍樹教学における「信」の可能性 | 山本伸裕 | 東洋大 |
| 3. 『論義抄』の諸本比較—六巻本と八巻本— | 若園善聡 | 龍大 |
| 4. 種子論からみた人間存在の意味—成唯識論を中心として— | 織田顕祐 | 大谷大 |
| 5. 世親と安慧の涅槃論 | 那須円照 | 龍大 |
| 6. 「物語」としての法華経 | 三輪是法 | 身延山大 |
| 7. 宗密『大乘起信論疏』の諸問題 | 早川道雄 | 国際仏教学大学院大 |
| 8. 華嚴経入法界品における仏母マザーの胎蔵世界 | 小林圓照 | 花園大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|----------------------------------|-------|--------|
| 1. アティシャの『入菩薩初学道説示』について | 望月海慧 | 身延山大 |
| 2. ツォンカパにおける縁起観の展開—『正理大海』を中心として— | 安武智丸 | 大谷大 |
| 3. 空海の経典理解 | 日平勝也 | 東大 |
| 4. 天台智顛の折伏義に関する一考察 | 田村完爾 | 立正大 |
| 5. サンヴァラ尊の成就法 | 山口しのぶ | 中京女子大 |
| 6. 往生浄土の心的構造への一視点 | 久米原恒久 | 浄土宗教学院 |
| 7. 『プラシャスタパーダ・パーシュヤ』における特別な認識 | 三浦宏文 | 東洋大 |
| 8. 真宗と現代心理学に関する一考察 | 吾勝常行 | 龍大 |
| 9. 道綽門下の整理 | 柴田泰山 | 大正大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|----------------------------------|------|--------|
| 1. 明恵と「本覚思想」 | 前川健一 | 東大 |
| 2. 偽経『法王経』とその思想について | 猪崎直道 | 駒大 |
| 3. 『三僧記類聚』をめぐる一、二の問題 | 武内孝善 | 高野山大 |
| 4. 古訳時代の訳出経典と疑経について | 高橋裕美 | 大正大 |
| 5. 「三種サンガ論」について | 吉津宜英 | 駒大 |
| 6. 法華経伝承の一様相 | 山崎守一 | 仙台電波高専 |
| 7. 近世における三乗批判の論理—普寂『成唯識論略疏』を通して— | 西村玲 | 東北大 |
| 8. 写本一切経と刊本一切経 | 落合泰典 | 華頂短大 |

第 6 部会 G棟26教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|---|------|--------|
| 1. 源信浄土教における菩提心について | 常光香誓 | 龍大 |
| 2. 法然上人における俱会一处の理解—一個の連続する場として— | 林田康順 | 大正大 |
| 3. 法然と親鸞の文書伝道 | 高山秀嗣 | 龍大 |
| 4. 親鸞にみる最澄の影響 | 新保哲 | 姫路獨協大 |
| 5. 親鸞における「信」と「証」 | 伊藤唯道 | 龍大 |
| 6. 親鸞における「信」「疑」の問題 | 平原晃宗 | 大谷大 |
| 7. 親鸞の獲信過程に関する一考察—思想と行動— | 貫名讓 | 大谷女子短大 |
| 8. 親鸞における妻帯の問題 | 安藤章仁 | 龍大 |
| 9. 親鸞書簡にみられる信心 | 高田未明 | 龍大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|---|-------|-------|
| 1. 親鸞の人間観の一考察—我と一切群生海— | 小川直人 | 大谷大 |
| 2. 称名信楽の悲願成就文について—親鸞における時と永遠— | 武田未来雄 | 大谷大 |
| 3. 親鸞聖人の和讃歌撰述の背景について | 北島隆晃 | 龍大 |
| 4. 親鸞聖人御消息における門弟の信仰態度の一考察 | 中臣至 | 龍大 |
| 5. 『歎異抄』第九条をめぐる疑義 | 大淵雅 | 京都西高 |
| 6. 後期親鸞における憶念の考察 | 御手洗隆明 | 大谷大 |
| 7. 教信沙弥の信仰—親鸞への影響を中心に— | 龍口恭子 | 龍大 |
| 8. 覚如上人の証果論 | 葛野洋明 | 龍大短大部 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|--|------|------------|
| 1. 日本中世の祖師信仰—真宗報恩講をめぐって— | 藤原正己 | 佛教大 |
| 2. 隆堯記『念仏安心大要』における教学的特色 | 那須一雄 | 浄土真宗教学研 |
| 3. 一遍遊行における念仏札の問題 | 小野澤眞 | 時宗教学研 |
| 4. 三尾地方の時宗寺院—特に熱田円福寺を中心として— | 古賀克彦 | 国府台女子学院中・高 |
| 5. 道元の仏性説について | 粟谷良道 | 曹洞宗宗学研 |
| 6. 『正法眼蔵』の宗教詩的側面—『優曇華』をめぐって— | 土田友章 | 南山大 |
| 7. 糞掃衣の展開—道元の解釈を中心に— | 松村薫子 | 総合研究大学院大 |
| 8. 中世曹洞宗における行と儀礼 | 金子奈央 | 東大 |
| 9. 道元禅師の利生思想について再論 | 青龍宗二 | 駒大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|--|------|-------|
| 1. 日蓮とその弟子檀越 | 小林正博 | 東洋哲学研 |
| 2. 富士川流域における日蓮教団の展開 | 池谷真敬 | 立正大 |
| 3. 極楽寺流北条氏と『立正安国論』 | 佐藤祐規 | 立正大 |
| 4. 日蓮の『立正安国論』をめぐる問題 | 北川前肇 | 立正大 |
| 5. 日蓮の世界像の原イメージ—日本神祇との関連について— | 笠井正弘 | 西日本短大 |
| 6. 江戸城大奥女性の信仰活動—江戸鼠山感応寺との関係を中心に— | 望月真澄 | 身延山大 |
| 7. 身延山の日蓮聖人と『注法華経』 | 関戸堯海 | 身延山大 |
| 8. 日蓮宗とキリスト教との対論—「石城問答」からの推論— | 渡邊寶陽 | 立正大 |

第7部会 G棟27教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|---------------------------------|------|-----------|
| 1. ザビエルを困らせた日本人の質問 | 青山玄 | 南山大 |
| 2. キリシタン版における「救済」の考察 | 狭間芳樹 | 大谷大 |
| 3. C. M. ウィリアムズとJ. リギンズ | 篠崎和久 | 立大 |
| 4. 近代日本キリスト教の電信員伝道について | 池上良正 | 駒大 |
| 5. 1684年以前の地藏の名字 | 清水邦彦 | 金沢大 |
| 6. 仙台と天草の禁教への宗派の差と仏教との関係について | 椿實 | |
| 7. 奥但馬の神仏習合と分離—特に大星郷を中心として— | 菊池武 | 砺波市立散村地域研 |
| 8. 同一系統神社における祭要素の受容パターンに関する事例報告 | 島田潔 | 國學院大 |
| 9. 幕末維新期の(祖先)論 | 遠藤潤 | 日本学術振興会 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|-----------------------------------|------|-------------|
| 1. 御斎会に準じた儀礼 | 神居文彰 | 佛教大 |
| 2. 入魂儀礼における道具についての考察 | 須藤寛人 | 駒大 |
| 3. 下総地方における鬼来迎信仰について | 小林尚英 | 大正大 |
| 4. 「口寄せ巫女」の「共同祭祀」—山形県庄内地方の事例を中心に— | 平山眞 | 東洋大 |
| 5. 僧の力、シャーマンの力—長崎県五島列島小値賀島の事例から— | 加藤之晴 | 駒大 |
| 6. 悪風当たり考—沖縄の事例を中心に— | 加藤正春 | ノートルダム清心女子大 |
| 7. 靈魂観念に関する一考察 | 米井輝圭 | 文化庁 |
| 8. 近代日本における知識人の靈魂観—柳田國男を中心として— | 本多亮 | 大正大総合佛教研 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|-----------------------------------|------------|---------|
| 1. 贈答のネットワーク—近世初期徳川社会の構造— | 曾野鈴子 | プリンストン大 |
| 2. 継承された神社の相嘗祭 | 海上直士 | 成蹊大 |
| 3. 神前結婚式の普及過程—明治後期における結婚観の変遷を中心に— | イリア・シニョリーニ | 東大 |
| 4. 集落宗教と葬祭仏教—近世宗教の世界— | 脊古真哉 | 中部大 |
| 5. 葬儀の実態—京都府T町の事例より— | 佐久間光昭 | |
| 6. 戦後における葬儀参加行動および意識の変化 | 村上興匡 | 東大 |
| 7. 神社祭祀における人身御供の語り | 六車由実 | 阪大 |
| 8. 〈八幡聖母〉の誕生—中世香椎宮の母神信仰と石清水八幡宮— | 須永敬 | 翰林大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|---------------------------------|-------|----------|
| 1. 宗教地理学におけるライフ・ヒストリー法の応用 | 竹村一男 | 立正大 |
| 2. 大主教ニコライの日本理解—祈祷文をめぐって— | 尾田泰彦 | 東京外国語大 |
| 3. 思想史としての近世・近代仏教研究 | 岡田正彦 | 天理大 |
| 4. 島地黙雷における「近代」—明治初年の政教論の意義— | 堀口良一 | 近大 |
| 5. 内村鑑三と清沢満之の回心 | 徳田幸雄 | 東北大 |
| 6. 田中正造晩年の精神世界 | 長江弘晃 | 佐野国際情報短大 |
| 7. 近代日本における教養と宗教—明治後期から大正期を中心に— | 手戸聖伸 | 東大 |
| 8. 日本女性の宗教的役割 | 櫻井徳太郎 | 駒大 |

第8部会 G棟28教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

- | | | |
|--------------------------|-------|--------|
| 1. 近代日本における「宗教」概念の一考察 | 山口 亜紀 | 南山大 |
| 2. 神話としての浄瑠璃 | 細田 明宏 | 京大 |
| 3. 謡曲における物狂(モノクルヒ) | 永原 順子 | 京大 |
| 4. 民衆の位置 | 横手 征彦 | 金城学院大 |
| 5. 仙台藩における本山派修験の本末関係について | 伊藤 辰典 | 東北大 |
| 6. 熊野信仰の一考察 | 環 栄賢 | |
| 7. 熊野古道の習い | 根井 浄 | 神戸常盤短大 |
| 8. 安井てつに関する一考察 | 森上 優子 | 南山大 |
| 9. 沖縄における祖先由来記の作成をめぐる | 安達 義弘 | 福岡国際大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|-------------------------------|-------|-------------|
| 1. 浄土真宗における青少年教化 | 塚田 博教 | 京都女子大付属小 |
| 2. 怪異と物忌 | 鈴木 一馨 | 東方研究会 |
| 3. 遠江国における民間陰陽師村院内の立地と成立背景 | 山本 義孝 | 静岡県浅羽町教育委員会 |
| 4. 陰陽道系説話の南島における展開 | 小池 淳一 | 弘前大 |
| 5. 近代日本の在家仏教運動の布教・教化戦略 | 大谷 栄一 | 国際宗教研 |
| 6. 賢治テキストの宗教性—自然の開示することば— | 佐藤 郁之 | 筑波大 |
| 7. 宮沢賢治の仏教的世界—「雨ニモマケズ」を中心として— | 菅原 諭貴 | 愛知学院大 |
| 8. 折口信夫の“実感”をめぐる | 川村 邦光 | 阪大 |

9月19日(日)午前 9:00~12:00

- | | | |
|-----------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 国学における宗教的経験の淵源について | 加島 史健 | 大阪明星学園高・中 |
| 2. 中江藤樹の皇上帝観 | 鈴木 保實 | 愛知県立明和高 |
| 3. 荷田春満の「神祇道德説」再考 | 松本 久史 | 國學院大 |
| 4. 中山みきと病の癒し | 池田 士郎 | 天理大 |
| 5. 「犠牲的」死への態度—御霊信仰と近代的記憶の交差点から— | 西村 明 | 東大 |
| 6. 明治中後期の日本思想界における「人格実現説」の流行について | 水野 友晴 | 京大 |
| 7. 現代宗教の「公」的側面と「私」的側面—立正佼成会の事例から— | ランジャナ・ムコパティヤヤ | 東大 |
| 8. 宗教と戦争体験—修養団捧誠会の場合— | 島 蘭進 | 東大 |

午後 13:30~16:10

- | | | |
|------------------------------|-------|----------|
| 1. オウム真理教—宗教学的にみたその問題— | 長崎 誠人 | 京大 |
| 2. オウム真理教の活動と予言について | 尾堂 修司 | |
| 3. オウム真理教事件と宗教学的の矛盾 | 島田 裕巳 | |
| 4. 真宗ファンダメンタリズム—浄土真宗親鸞会— | 森 葉月 | ICU |
| 5. パソコン通信を利用した富士塚調査 | 大谷 正幸 | |
| 6. ネットワークゲームの儀礼—あらたなコミュニティー— | 宇野 正人 | 江戸川女子短大 |
| 7. 宗教の情報史観 | 岩井 洋 | 関西国際大短大部 |
| 8. 日本の宗教教団におけるインターネット利用 | 黒崎 浩行 | 國學院大 |

第9 部会・パネル E棟B1教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

宗教学・仏教学と仏教者—学問と宗教活動の関係—

個人の信仰・宗教活動と宗教の学問的研究との関係を取り上げる。特に仏教研究者の多くが個人的な生活の場面で、多少なりとも仏教的諸活動にかかわっている日本における、学問と宗教活動の関係を論じる予定である。

宗教学・仏教学と仏教者—学問と宗教活動の関係—	企画・司会	ポール・スワンソン	南山宗教文化研
心理学と信仰		金児 暁嗣	大阪市立大
宗教学における主体的客観性と客観的主体性		ルーベン・アビト	龍大
大乘仏教起源論にみる日本の仏教学界と仏教界		下田 正弘	東大
仏教学者はなにを信じているのか		津田 眞一	国際仏教学大学院大
宗教学・仏教学と仏教者—発表に込めて—		星野 英紀	大正大

9月19日(日)午前 9:00~12:00

対立する宗教—対話可能性と根源的暴力性への問い—

「対立する宗教」もしくは「宗教と暴力」というテーマがはらむ諸問題を、それらが生起する個々の現場の精査を行ったパネリストをむかえて討議する。そして、宗教研究一般の中でこのテーマが占めるべき位置について考察する。

「対立する宗教」もしくは「宗教と暴力」という問題系の射程	企画・司会	近藤 光博	南山宗教文化研
対立する宗教—「イスラム」が暴力と結びつくとき—		八木 久美子	東京外大
韓国天主教の落胎(中絶)児達—プロライフとマリア信仰—		淵上 恭子	民族学振興会
公的宗教の臨界点—タイにおけるタンマカーイ寺問題—		矢野 秀武	日本学術振興会
新宗教集団による暴力への抗議の論理—天地正教とコミュニティ—		櫻井 義秀	北大

9月19日(日)午後 14:00~17:00

キリスト教と文化

20世紀末を迎える今日、キリスト教は21世紀、あるいは第三の千年紀という新時代において、どのような方向に向かうのか、あるいは向かうべきかを「文化」との関連において考察し、議論することを目的とする。

キリスト教と文化	企画・司会	久松 英二	南山大
キリスト教文化論の現状と課題		芦名 定道	京大
現代世界文明とキリスト教のゆくえ		H.-J. マルクス	南山大
キリスト教と日本の文化		幸日 出男	NCC宗教研
これからのキリスト教と仏教の対話		奥村 一郎	カルメル会
キリスト教と文化—発表に込めて—		奈良 康明	駒大

第10部会・パネル E棟11教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

日本の宗教哲学の可能性—「京都学派」をめぐって—

京都学派の哲学は、海外から日本の宗教哲学の一つの典型と見なされている。そこで、京都学派の学問伝統をめぐってその問題点と今日的意義を探り、日本の宗教哲学がどのような課題と可能性をもつかを検討してみたい。

日本の宗教哲学の可能性—「京都学派」をめぐって—	司会 藤田正勝	京大
西田と西谷における宗教と哲学	企画 氣多雅子	金沢大
宗教間対話の基礎としての「京都学派」宗教哲学?	松丸壽雄	獨協大
西谷啓治の宗教哲学における神秘主義研究の意義	保呂篤彦	和歌山親愛女子短大
日本の宗教哲学の可能性—発表に込めて—	鶴岡賀雄	東大
	棚次正和	筑波大

9月19日(日)午前 9:00~12:00

宗教と女性

宗教の場における女性の活動の様子を、さまざまな分野の調査から明らかにし、そこから従来の宗教研究や教団構造に対して投げかけられている問題を参加者一同で討議する。

宗教と女性—問題の所在—	企画・司会 薄井篤子	神田外語大
宗教集団における「ジェンダー」の再生産過程	猪瀬優理	北大
民俗宗教における巫女と女性たち	神田より子	敬和学園大
近代曹洞宗教団における女性の位置	熊本英人	曹洞宗宗学研
フェミニスト神学の動向と展望	小原克博	同志社大
宗教と女性—発表に込めて—	小松加代子	湘南国際女子短大

9月19日(日)午後 14:00~17:00

宗教心理学と自己の問題

自己実現論、聖なるものの内在／超越等々、自己をめぐる宗教心理学的問題を論じる場を提供したい。なお、パネリスト・ディスカッサントは特定の学派(たとえば「ユング派」などといった)に偏るのではなく、あくまで各々の学派には距離をおきながらも、問題にアプローチする際の一つの切り口としてそれぞれの理論や思想を手がかりにするものである。

宗教心理学と自己の問題	司会 岩田文昭	大阪教育大
ユングの自己実現論の現代的意義	企画 葛西賢太	上越教育大
マズローの自己実現論と宗教論の意義	垂谷茂弘	舞鶴高専
トランスパーソナル心理学の諸問題	堀江宗正	東大
宗教心理学と自己の問題—発表に込めて—	高橋原	東大
宗教心理学と自己の問題—発表に込めて—	吉永進一	舞鶴高専
宗教心理学と自己の問題—発表に込めて—	安藤泰至	鳥取大

第 11 部会 ・ パネル E棟12教室

9月18日(土)午前 9:00~12:00

宗教調査の方法の再検討

宗教調査のこれまでの成果を検討し、調査の問題点、およびこれからの展開を考察する。そのために、宗教調査では何が解明できるか、また国際比較調査の可能性を探り、その方法を議論する。

宗教調査の方法の再検討	企画・司会	ロバート・キサラ	南山宗教文化研
宗教調査の現状と問題点		石井 研 士	國學院大
現代宗教の調査—オウム事件を踏まえて—		弓 山 達 也	大正大
国際比較調査の可能性		永 井 美 紀 子	國學院大
宗教調査の方法の再検討—発表に就いて—		カール・ベッカー	京大

9月19日(日)午前 9:00~12:00

日本における宗教学と隣接諸学 —人類学、民俗学、社会学との関わり—

戦後における宗教学の展開に大きな影響を与えた社会学、人類学、民俗学をとりあげ、それぞれの分野の宗教研究と宗教学との関わりを検討することによって、日本の宗教学の個性や展開史を再考する手がかりとしたい。

日本における宗教学と隣接諸学—人類学、民俗学、社会学との関わり—			
	企画・司会	山 中 弘	愛知学院大
人類学と宗教学		関 一 敏	九 大
民俗学と宗教学		宮 田 登	神奈川大
社会学と宗教学		西 山 茂	東洋大
日本における宗教学と隣接諸学—発表に就いて—	共同企画	林 淳	愛知学院大

9月19日(日)午後 14:00~17:00

日本の宗教学—社会的布置に関する再検討—

日本の宗教学説史上、重要な意義を持つ宗教学者たちの活動とその諸学説を同時代の社会のなかに再定位することで浮上する諸問題を抽出することにより、日本の宗教学説に批判的な再検討を試みる。それにより日本の宗教研究が今後、踏まえてゆくべきいくつかの課題を提示することを目指したい。

日本の宗教学—再考に向けて—			
	企画・司会	奥 山 倫 明	南山宗教文化研
近代宗教学の登場		磯 前 順 一	日本女子大
ナショナリズム・文化・民俗学—初期堀一郎の文化史学をめぐって—		松 岡 秀 明	カリフォルニア大
「民間信仰」研究の展開とその意義—姉崎正治から堀一郎へ—		鈴 木 岩 弓	東北大
宗教学における日本認識—「自然宗教」論から「無宗教」論まで—		中 村 生 雄	阪大
原田敏明と神道研究—発表に就いて—		櫻 井 治 男	皇學館大

会場案内図

F棟

E棟

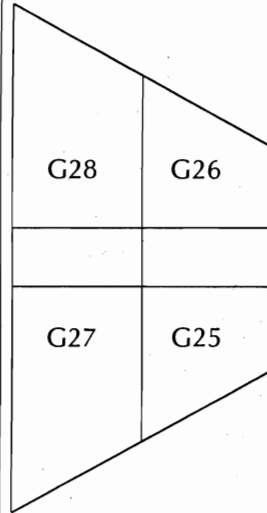
F38	F37	F36	F35	F34	F33	F32	F31	E34	E33	E32	E31
					WC						
F28	F27	F26	F25	F24	F23	F22	F21	E24	E23	E22	E21
					WC						
					F13	F12	F11	E12		E11	
					WC						
					FB2	FB1	EB1				
					WC						

G棟

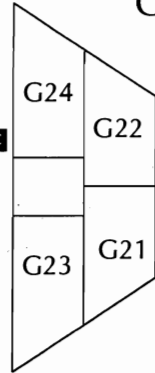


メインストリート

ロビー

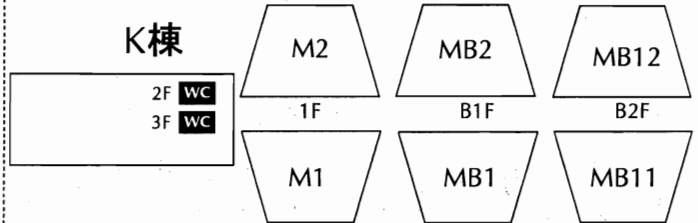


G棟



M棟

K棟



受付 9月17日(金) G棟30教室ロビー

9月18日(土)~19日(土) G棟ロビー

会員休憩室・クローク

F棟11教室、12教室

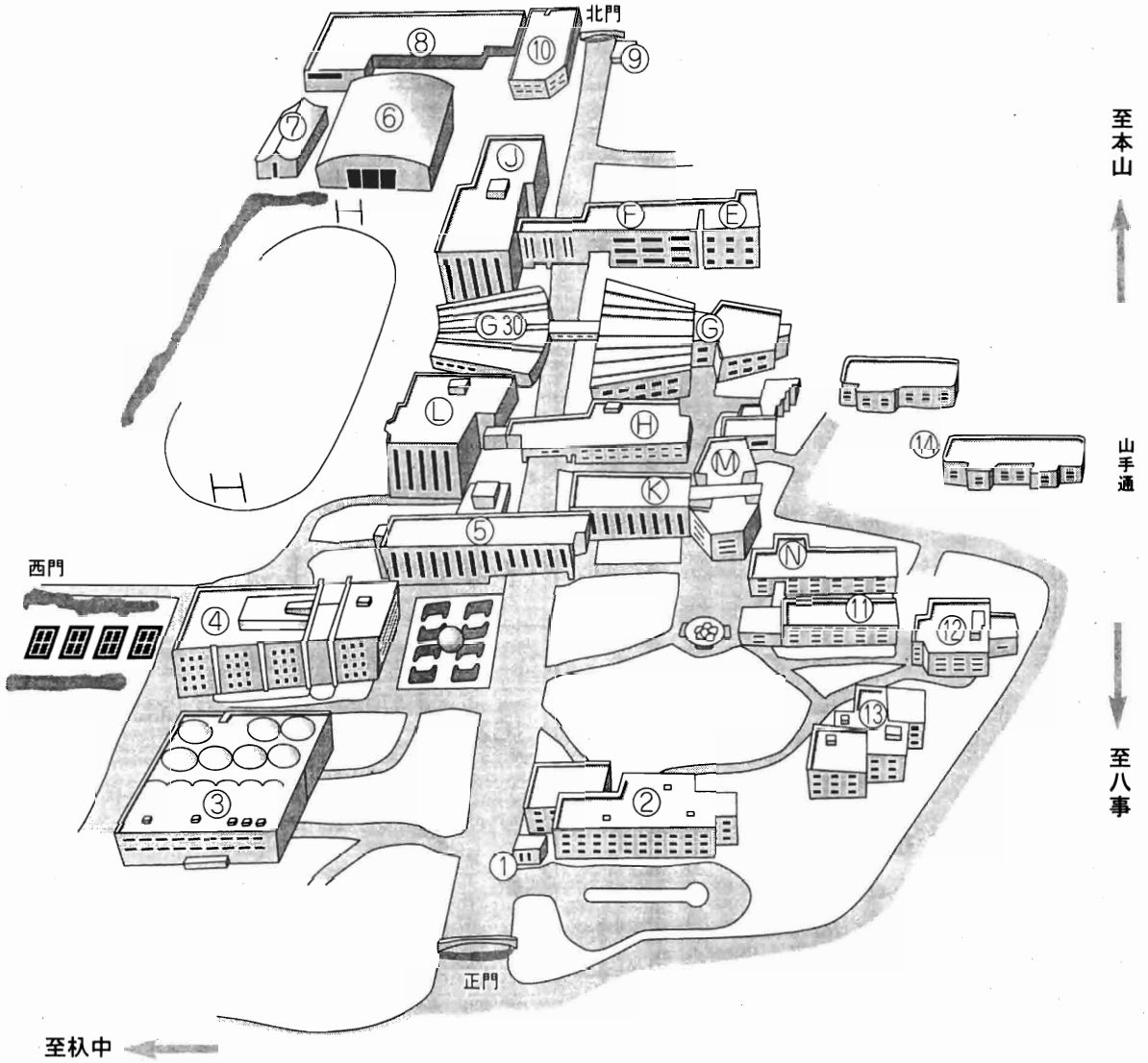
学会本部・大会本部

F棟13教室

書籍の展示・販売

F棟ロビー

南山大学構内図



- ① 総合受付
- ② 本部棟(理事会)
- ③ 大学会館・第1食堂(懇親会)
- ④ 図書館
- ⑤ 第1研究室棟
- ⑥ 体育館
- ⑦ クラブハウス
- ⑧ 体育センター・第3食堂
- ⑨ 北詰所
- ⑩ コパン(学生会館)
- ⑪ 第2研究室棟
- ⑫ 南山宗教文化研究所・人類学研究所
- ⑬ 同窓会館・第2食堂
- ⑭ 研修センター
- 第2大学院研究棟
- 八雲交流会館
- E E教室棟(パネル)
- F F教室棟(各委員会)
- G30 G30教室(国際シンポジウム)
- G G教室棟(研究発表)・人類学博物館
- H H教室棟
- J J棟(情報センター)
- K K教室棟
- L L棟
- M M教室棟(評議員会)
- N N棟

ようこそ、南山大学へ

宗教学会に参加される皆様を歓迎いたしたく、以下の施設を公開します。どうぞ、ご自由にご覧ください。

- ・ 人類学博物館 (G棟裏)
開館: 18日(土)、12:00~16:00
- ・ 大学図書館
宗教関係資料特別展示: 18日(土)、12:00~16:00
- ・ 神言神学院図書館 (宗教文化研究所より徒歩1分)
開館: 18日(土)、12:00~16:00
- ・ 南山宗教文化研究所
公開: 18日~19日(土・日)、10:00~16:00

学内レストランのご案内

学生会館「コパン」にある三つのレストランは、学会開催に伴い、次の時間に臨時営業します。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ・ ボンマルシェ 2F | } 18日~19日(土・日)、11:00~14:00 |
| ・ マクドナルド 1F | |
| ・ DA・GA・NE 1F | |

自動販売機はコパンおよび大学会館にあります。

禁煙のお願い

南山大学のすべての教室、会議室は禁煙となっております。ご協力お願いします。

